



【プレスリリース】

2015年4月15日
六本木アートナイト実行委員会

開催まで残り10日、約80プログラムの全貌が明らかに！

六本木アートナイト 2015

プログラム内容、参加アーティストなどの詳細が決定
4月25日(土)10:00～26日(日)18:00

2015年4月25日(土)～26日(日)に開催する一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト2015」。

六本木アートナイト実行委員会は、2013年、2014年に続きアーティストックディレクターを務める日比野克彦氏、新設されたメディアアートディレクターを務める株式会社ライゾマティクス代表取締役の齋藤精一氏と共に、今回のテーマ『ハルはアケボノ ひかるつながるさんかすル』に基づいた約80プログラムの全貌が遂に決定いたしました。

2009年に始まり、今回で6回目^{※1}を迎える「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に2009年より開催している一夜限りのアートの饗宴です。今回はメディアアートに光を当てながら、テーマを『ハルはアケボノ ひかるつながるさんかすル』としました。

今回のテーマを象徴するメインプログラムとして、齋藤精一氏主導でLEDを実装した光る大型トラックによる《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》を展開します。その他にも、六本木という街の新たな魅力を再発見できるアートスポットを街中に点在させます。さらに、インスタレーション展示やパフォーマンスに加え、参加者がいてはじめて成立するアートの形態、体験・参加型のプログラムも多数実施します。

また、今年初めて実施したプログラムの公募「オープン・コール・プロジェクト」で採用されたプログラムやアート関連施設や団体が同時開催するプログラムなど、「六本木アートナイト2015」ならではのプログラムもご用意しています。

他にも、「六本木アートナイト2015」当日は、各美術館やギャラリーなどで開催されている展覧会の特別プログラムや、開館時間延長、入場料割引^{※2}、さらに各店舗での様々なサービスなども満載です。

六本木の街中がオールナイトでアートに彩られる祭典に、ぜひご期待ください。

※1: 2011年は東日本大震災により中止 ※2: 美術館により異なります。

【主なプログラム】

《SENSELESS DRAWING BOT》



撮影: 山上洋平

《Bloom》



Photo: Marleen Maathuis

《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》「アケボノ号」



Voyage 2002 Photo: Kazuo Fukunaga

《ダンス・トラック・プロジェクト》



《ダムタイプ映像祭》



Voyage 2002 Photo: Kazuo Fukunaga

《ハルはアケボノカフェ supported by Seibu & Sogo



※本リリース内容は配信日時点のものであり、今後変更になる場合があります。

【「六本木アートナイト 2015」 広域プログラム】

六本木の街中がアートステージに！今年のテーマに沿ってセレクトされたアートプログラムで、見慣れた街の風景が一変します。数々の作品が各エリアを繋ぎ、六本木の街歩きを楽しむことができます。

メインプログラム

ライゾマティクス《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》

「もしも都市が生きていたら今のような姿だろう？」

東京オリンピック・パラリンピックに向けて形を変えていく都市の中で、必要物資を運ぶトラックは、これから5年の東京のひとつのシンボルになります。その働く車に、メディアアートディレクター齋藤精一率いるライゾマティクスチームが、六本木という都市の人格をインプットし、新たな器官を与え、参加者とのコミュニケーションを創出する大型アートプロジェクトです。巨大ミラーボールが搭載された「アケボノ号」は六本木ヒルズアリーナを基地に、コアタイムには国立新美術館や東京ミッドタウンにも出陣します。一方、提灯アレイ・ディスプレイが搭載された「ハル号」は東京ミッドタウンに鎮座し、ある時には感情をのぞかせ、ある時にはお互いの得意技を繰り出しながら観客と繋がっていきます。

① 「ハル号」

「ハル号」は、人格を持った働く車。東京ミッドタウンに鎮座し、常に東京・六本木に関するデータを収集、搭載した提灯アレイ・ディスプレイに、収集したデータをビジュアライズするとともに、内容に対する感情をあらわします。また、来場者が投稿可能な特設サイトから、参加者の気持ちを読み込み、提灯アレイ・ディスプレイに表示する。フレンドリーで気軽に写真撮影にも応じるアートトラックです。

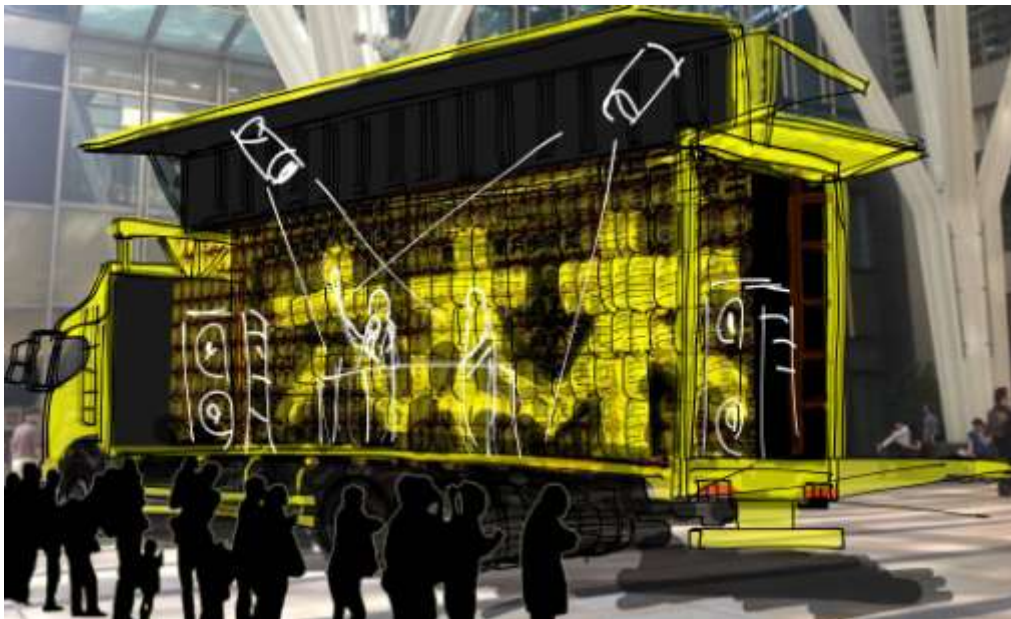
- ・日時: 4月25日(土)18:30～4月26日(日)18:00
- ・場所: 東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・参加料: 無料

<「ハル号」で展開する主なプログラム> **NEW**

MAHARO・DOPPEL《ハル号ライブペインティング》

注目のアーティストMAHARO(マハロ)とDOPPEL(ドッペル)により、「ハル号」のボディがライブペインティングによって生気をまわっていきます。人物や動物、キャラクターや、抽象的な紋様が、独特の世界観で描かれます。

- ・日時: 4月25日(土)19:00～4月26日(日)17:00
- ・場所: 東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・参加料: 無料



《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》「ハル号」イメージ



② 「アケボノ号」

巨大なミラーボールを搭載して六本木の街を移動するアートトラック「アケボノ号」。光る巨大ジャングルジム基地と融合した近未来的演出も、メディアアートとパフォーマンスのコラボレーションも、来場者の操作による演出もこなす、多彩なマシンです。

- ・日時: 4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所: 六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館
- ・参加料: 無料



《アートトラックプロジェクト ハル号 アケボノ号》「アケボノ号」イメージ

＜「アケボノ号」で展開する主なプログラム＞ NEW

●六本木ヒルズ

HIFANA《アケボノ号始動！ライブ with HIFANA+ゲスト》

コアタイムキックオフセレモニーのラストで、いよいよ「アケボノ号」が始動。光るジャングルジムと合体し、豪華ゲストのライブをヒカリのシャワーで盛り上げます。

- ・日時: 4月25日(土)18:45~20:00
- ・場所: 六本木ヒルズアリーナ
- ・出演: アケボノ号、HIFANA、DJ 吉沢、シークレットゲスト
- ・参加料: 無料
- ※その他シークレットゲストの情報は決定次第、「六本木アートナイト 2015」公式ウェブサイトにて発表します。

●国立新美術館

《アケボノ号出張パフォーマンス》@国立新美術館

アートトラックが参加者にその巨体を預け、基幹機能であるムービングライトやミラーボールを参加者が操ることでアート空間が醸成されます。

- ・日時: 4月25日(土)21:00~21:30
- ・場所: 国立新美術館西門
- ・参加料: 無料

●六本木ヒルズ

《アケボノ号との対話》@六本木ヒルズ

基地に凱旋した「アケボノ号」は、参加者にライトやミラーボールの操作を託し、自らは大型ビジョンを操り、六本木の今とともに、都市の声を映し出します。

- ・日時: 4月25日(土)22:00~4月26日(日)3:00
- ・場所: 六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料: 無料

●東京ミッドタウン

《アケボノ号出張パフォーマンス with HIFANA》@東京ミッドタウン

東京ミッドタウンのアトリウムに集まった観客が目当たりするのは、ガラス越しに行われる「アケボノ号」と HIFANA のミッドナイトパフォーマンス。

- ・日時: 4月26日(日)3:30~4:00
- ・場所: 東京ミッドタウン アトリウム
- ・参加料: 無料

「ハル号」・「アケボノ号」の制作が進行中

齋藤精一氏をはじめとしたライブマティクスチームを中心に「六本木アートナイト 2015」当日まで六本木エリアにて「ハル号」・「アケボノ号」制作を行っています。

事前のご取材を希望される方は、六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (TEL: 03-5572-6072) までご連絡ください。

アケボノ号の移動ルート





街なかインスタレーション

「六本木アートナイト」では毎年、街なかのお店やストリート、公園などに作品を点在させることにより、六本木の街の魅力を発見できる夜をつくり出しています。今年はメディアアートを取り入れた様々なインスタレーション作品や、今回初めて実施した公募プログラム「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラムなどを展開していきます。

Tim van Cromvoirt + Marleen Maathuis《Bloom》 **NEW**

《Bloom》はたくさん巨大な花がゆっくりと稼働する機械彫刻作品です。自然のなかに溶け込み存在するこの作品は、あなたをアートナイトの喧騒から少し遠いところへいざない、ひと時の安らぎをあたえてくれるはずです。

- ・日時: 4月25日(土)12:00~4月26日(日)18:00 ※荒天中止
- ・場所: 国立新美術館 正門~西門スロープ
- ・参加料: 無料
- ・特別助成: オランダ大使館



Photo: Marleen Maathuis

東恩納裕一《キャンディ》 **NEW**

そのキャンディーはミラーボールのように、夢を紡ぐ spinning wheel のように、ゆっくりと sweet に、果てることなく回転し、私たちを魅了する。終わることのない夢、願望、欲望がキャンディーをさらに肥大化させる。

- ・日時: 4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所: 政策研究大学院大学
- ・参加料: 無料



© Yuichi Higashionna

Courtesy of Yumiko Chiba Associates
展示風景: 個展「東恩納裕一 /
FL」CALM&PUNK GALLERY(東京)2012

ジェイ・ムーン《結びつく街》 **「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム**

韓国出身でニューヨーク在住のアーティスト、ジェイ・ムーンによるレゴを使った参加型アートプロジェクト。東京ミッドタウンに設置された作品に、参加者たちがレゴブロックを加えて、作品を完成させていきます。

- ・日時: 4月25日(土)11:00~4月26日(日)18:00
- ・ワークショップ開催日時: 4月25日(土)11:00~19:00 4月26日(日)11:00~18:00
- ・場所: 東京ミッドタウン プラザ1F
- ・参加料: 無料
- ・協力: レゴジャパン株式会社



©Jaye Moon

菅野 創十やんツ一《SENSELESS DRAWING BOT》

グラフィティにおける描画プロセスのダイナミズムや即興性、記号性といった要素のみを提示する、意識も主張もない不完全無血のドローイングマシン。2011年9月に発表後、ドキュメント映像が世界中のウェブメディアに取り上げられ、第15回文化庁メディア芸術祭アート部門にて新人賞を受賞。

- ・日時: 4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
※パフォーマンス: 4月25日(土)23:30~(予定)
- ・場所: 東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・パフォーマンス: Houxo Que
- ・参加料: 無料



Photo: Yamakami Yohei

おかだゆか & 川名宏和《KAWAT Tower》 **「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム**

普段見慣れている工事現場のカラーコーンとはひと味違う、人の動きによって変化するインタラクティブな仕掛けや LED 電球を纏ったカラーコーンが街中に出現。「六本木アートナイト」ならではのコーンとの出会いをお楽しみください。

- ・日時: 4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所: 東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア、六本木ヒルズアリーナ、他
- ・参加料: 無料



《KAWAT Tower》2015



山岡潤一《Morphing Cube》

《Morphing Cube》は、コンピューターグラフィックスの幾何学形状を物理的に再現することで、様々な形状に変形するキネティックな構造体です。ゴム、テグス、モーター、制御用コンピューターで構成され、外枠の各頂点に配置された 8 つのモーターを制御することで、ゴム製の立方体が、台形や平面など様々な形状に変形したり、平行移動します。

- ・日時: 4月 25 日(土)11:00~4月 26 日(日)18:00
- ・場所: 六本木 PARS
- ・参加料: 無料



Rhizomatiks《ROPPONGI DATA OF MIND》 NEW

アートトラックプロジェクトにおける、六本木ビジュアルライゼーションプロジェクト。「もしも都市が生きていたら」をテーマに、六本木に反応する人格を作成。様々なパブリックデータを収集し、街頭ビジョンで六本木の今をビジュアルライゼーションします。このアート作品の情報ソースの一部には、Google Trend の API が使用されています。

- ・日時: 4月 25 日(土)~4月 26 日(日)時間未定
- ・場所: 六本木交差点付近
- ・参加料: 無料
- ・プログラムサポート: Google

クリスティーヌ・カメニッシュ、ヨハン・ヴェッチュ《とるにたらない》《潜る》 NEW

コンピューター上のソフト「Illustrator」や「Motion」を通して図表に現れる株式指標の図式。白き山の稜線を描くかのようなその形状は、冬のスイスや日本のアルプス山脈をも思わせ、永遠を感じさせる映像作品《とるにたらない》。《潜る》は、人気のないスイスのトンネルをくぐり続ける終わりのないドライブが画面に納められる。高速で過ぎ行く街灯、閉じられた空間の重量……。トンネル内をドライブする際に感じる埋没してゆくかのような浮遊感が、深夜の大型ビジョンを通して襲ってきます。スイスの作家による幻想的な映像作品群。

- ・日時: 4月 25 日(土)24:00~4月 26 日(日)4:56
- ・場所: 六本木ヒルズ メトロハット大型ビジョン
- ・参加料: 無料



©Christine Camenisch | Johannes Vetsch

ダムタイプ映像祭

今回はダムタイプの名作を映画館の大型スクリーンで鑑賞できるスペシャルプログラムを実施します。上映作品は、鋭くコミカルに消費社会を描写した《pH》、セクシャリティを問う《S/N》、生と死を考察する《OR》、記憶をテーマにした《memorandum》、情報の生成に着目する《Voyage》の全 5 作品。この機会をお見逃しなく。

- ・上映スケジュール: 4月 25 日(土) 21:00~22:08 《pH》(68 分)、22:30~23:38 《S/N》(68 分)
24:00~4月 26 日(日) 1:08 《OR》(68 分)
4月 26 日(日) 1:30~2:45 《memorandum》(75 分)
3:00~4:10 《Voyage》(70 分)

- ・場所: TOHO シネマズ 六本木ヒルズ
- ・鑑賞料金: 1,000 円/作品
- ※チケット: 4月 18 日(土)24:00 より、TOHO シネマズ Vit にてネット販売



Dumb Type 《OR》
1997 / Photo: Arno Declair

「リライトプロジェクト」キックオフ！！ NEW

「Relight Project (リライトプロジェクト)」は、六本木けやき坂のパブリックアート《Counter Void (カウンター・ヴォイド)》の再点灯を目指すプロジェクト。作者の宮島達男をはじめ、アートディレクター・長嶋りかこなども参加。同作品の壁面にメッセージが綴られます。

- ・日時: 4月 25 日(土)10:00~4月 26 日(日)18:00
- ・場所: 六本木ヒルズけやき坂 カウンター・ヴォイド
- ・参加料: 無料

※アーツカウンシル東京事業、東京アートポイント計画「リライトプロジェクト」の一環として実施します。



宮島達男《Counter Void》
2003 年 / テレビ朝日所蔵作品

中崎透《Sign for public art》 NEW

六本木の街には美術館のようにさまざまなパブリックアートが常設されているのをご存知でしょうか。今回、アーティストの中崎透はこれらのパブリックアートを元にオリジナル看板を作品として発表します。どんな看板に仕上がるか、ご期待ください。

- ・日時: 4月 25 日(土)10:00~4月 26 日(日)18:00
- ・場所: 港区立さくら坂公園 (ロボロボ園)
- ・参加料: 無料

※アーツカウンシル東京事業、東京アートポイント計画「リライトプロジェクト」の一環として実施します。



「看板屋なかざき」2014
撮影: 小山田邦哉



曾根光揮《写場》 **NEW**

参加型の映像インスタレーション作品。映像作品を鑑賞していると、リアルタイムで撮影された画像が映像に登場する驚きの展開へ。映像世界と現実が織り混ざる不思議な世界をお楽しみください。

- ・日時:4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所:第一レーヌビル
- ・参加料:無料



ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・サニ《TME - Tokyo Metropolitan Expressway》 **NEW**

国際的に活躍するアーティスト・ユニットの東京を舞台にした作品。アンドレイ・タルコフスキー監督の映画『惑星ソラリス』に登場する首都高速道路のシーンと掛け合わせた映像を街中に投影します。

- ・日時:4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所:Patata 六本木
- ・参加料:無料



《TME-Tokyo Metropolitan Expressway》2005
Copyright:VG Bild-Kunst and the artists

Tim van Cromvoirt《Lungplant》 **NEW**

環境に溶け込み、静かに呼吸をしながら点滅を繰り返すその姿は生命体のよう。鑑賞者もまた呼応するように穏やかな気持ちになり、その神秘性に取り込まれていることにふと気づかされるはずです。

- ・日時:4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所:六本木ロアビル
- ・参加料:無料
- ・特別助成:オランダ大使館



Photo: Tim van Cromvoirt

ウー・ジーツォン《Wire I》《Crystal City 002》 **NEW**

ウー・ジーツォンはプロジェクターを用いた作品を通して、日常のなかでは出会うことのない新たな世界をつくりだすとともに、メディアの進化がつくりだす新たなものの見方や世界との関わり方を表現します。

- ・日時:4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所:第一レーヌビル
- ・参加料:無料
- ・特別助成:台湾文化部



PAN Studio, Tom Armitage and Gyorgyi Galik《Hello Lamp Post Tokyo》 **NEW**

あなたの携帯やスマートフォンで、街のなかのさまざまな物と会話を楽しみませんか。英国ブリストルで展開された話題のプロジェクト《Hello Lamp Post》が東京で始動。携帯やスマートフォンから hello@lamppost.tokyo 宛に「こんにちは東京」とメッセージを送って会話をスタートしてみましょう。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・場所:詳細は運営本部(ラピロス六本木)にて
- ・参加料:無料



街なかパフォーマンス

六本木の様々な場所でパフォーマンスが展開されます。「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラムも登場し、非日常的な一夜をつくり出します。

ダンス・トラック・プロジェクト

アートトラックで様々な都市とネットワークし、街中の空き地の有効活用、ダンスにおける新たな mobility(機動性・移動性)を探る「ダンス・トラック・プロジェクト」。10組のダンスアーティストたちがトラックの極小スペースを舞台に都市の景観からインスパイアされたパフォーマンスを展開します。

- ・日時:4月25日(土)20:00~4月26日(日)4:00 ※詳細は公式ウェブサイトへ
- ・場所:六本木ヒルズ 66 プラザ
- ・出演:白井 剛、MOKK、鈴木ユキオ、Jon(犬)、向雲太郎、未来.Co、AEROBIX、新宅一平、中村 蓉×豊福彬文、北尾 亘
- ・参加料:無料
- ・企画:全日本ダンストラック協会、NPO 法人 Offsite Dance Project (<http://dance-truck.jp/>)





サイレントダンスプログラム

孤高の舞踏家と鬼才の若手振付家が率いるユニットの2組が、音楽も台詞も存在しない、完全無音のダンスプログラムを上演します。

《ご多分にもれず、ふつう。～六本木の空の下バージョン～》

- ・日時: 4月25日(土)19:30、21:30(各20分)
- ・場所: 三河台公園
- ・出演: モモンガ・コンプレックス with 舞台美術人間

《Dancing in the Street》

- ・日時: 4月25日(土)20:30、22:30(各20分)
- ・場所: 三河台公園
- ・出演: 室伏鴻



スイッチ総研《六本木アートナイトスイッチ》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

「スイッチ」を押すと「なにか」が起こる3秒～30秒の劇的かつ失笑空間へようこそ。「六本木アートナイト史上最も敷居の低い芸術」を標榜。靴ひもをほどいたりして物語を始めるのは貴方です！

- ・日時: 4月25日(土)～4月26日(日)会期中随時
- ・本部: ラピロス六本木/その他: 六本木ヒルズ、国立新美術館、六本木商店街 各所
- ・研究開発/出演: 大石将弘、光瀬指絵、他総勢約100名
- ・参加料: 無料



ズンマチャンゴ《ズンマチャンゴのかげら箱》 「オープン・コール・プロジェクト」採用プログラム

誰もが幼少時に経験する“ごっこ遊び”の究極の進化系といえるズンマチャンゴによる、移動型ステージショー。子供には親しみやすく、大人にはどこか懐かしい、キュートでカラフルでポップなひと時をお届けします。

- ・日時: <ピラミデビル> 4月25日(土)20:30、21:30、22:30、23:30 4月26日(日)3:30
<東京ミッドタウン アトリウム> 4月26日(日)1:30
<六本木ヒルズアリーナ> 4月26日(日)13:30
- ・場所: ピラミデビル、東京ミッドタウン アトリウム、六本木ヒルズアリーナ
- ・出演: ひめだ まなぶ、さらしな まりこ、かねこ としき、こうもと さきこ



街なかミーティング

夜を徹して大人がカルチャーで遊ぶ企画から、家族でも楽しめる日曜日のワークショップまで、集うつながるさんかすル！

《ハルはアケボノカフェ supported by Seibu & Sogo》

「六本木アートナイト2015」のコンセプトカフェスペース。「都市の文化は夜創られる！」というコンセプトのもと、刺激的なトーク、ライブ・ペインティング、脳波ビジュアルライゼーション、ライブ・エレクトロニック・ミュージックとDJ ナイトなどを組み合わせた多様なプログラムで、アートな夜の楽しみ方を提案します。ヨーロッパで注目されているシステム・概念である「Night Mayor」(夜の市長)の成功事例を持つオランダ・アムステルダム市とのコラボレーションも。東京の春のアケボノを体感しよう。

- ・日時: 4月25日(土)11:00～4月26日(日)5:00、4月26日(日)11:00～18:00
- ・場所: 六本木ヒルズ ヒルズカフェ/スペース
- ・参加料: 無料
- ・協賛: 西武・そごう
- ・特別助成: アムステルダム市



《「六本木ダークナイト」organized by 真鍋大度(Rhizomatiks)》 NEW

ライゾマティクス・真鍋大度がオーガナイズする、テクノロジー・アートのちいさなカンファレンス。日本のテクノロジー・アートの現在と未来を考察するカンファレンス。登壇者はライゾマティクスより真鍋大度、落合陽一、久保田晃弘(多摩美術大学)、畠中実(NTT インターコミュニケーション・センター)、八谷和彦、クワクポリョウタほか最前線で活躍するアーティスト・キュレーター・研究者ら。

- ・日時: 4月25日(土)23:00～4月26日(日)2:00
- ・場所: テレビ朝日 umu
- ・参加料: 無料



photo by Ryuichi Maruo(YCAM)



六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー **NEW**

六本木アートナイトでは初の試みとなる作品ガイドツアー「六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー」を開催します。

ACOP という独自のアート鑑賞法を踏まえ、平野智紀によって事前トレーニングを積んだボランティアガイドは、一般的なガイドツアーとは異なり、作品の知識を参加者へ一方的に説明するのではなく、参加者と共に対話を楽しみながら展示作品や六本木の街の魅力に迫っていきます。

参加者のキャラクターや参加人数によっても様相が変化していくガイドツアーは、一度のみならず何度参加しても毎回様子が違ってくることでしょう。あなたもガイドツアーに参加して、六本木アート

ナイトをしゃべり倒してみませんか？

- ・日時: 4月25日(土)18:00~24:00 (60分間隔で開催)
- ・ツアー開始場所: ラビロス六本木 1F
- ・参加料: 無料
- ・募集定員: 各回15名
※所要時間 45分程度、参加されたい方は15分前までにツアー開始場所に集合してください。
※毎時00分にツアーを開始します。



日比野克彦《昨日と今日の間みる夢》

「六本木アートナイト 2015」アーティストディレクターの日比野克彦が企画するワークショップを4月26日(日)朝から昼にかけて実施します。日比野克彦と一緒に語らいながら、集った各々が昨晚見た夢を思い出します。描き初めをするように、朝の光のもと、自分の夢を描いてゆきます。日比野克彦にも手を加えてもらい、あなたの夢の絵を完成させましょう！子供から大人までどなたでも参加できます。最後には、みんなの絵を写真に撮ってひとつの映像につなぎます。「六本木アートナイト 2015」の一夜の夢を日比野克彦と一緒に記憶に残しましょう。

- ・日時: 4月26日(日)9:30~12:00
- ・場所: テレビ朝日 umu
- ・参加料: 500円
- ・定員: 40名 ※要事前申し込み 欠員がある場合当日参加可



《第三回 六本木夜楽会》

毎年大好評の六本木夜楽会を今年も開催。アーティストや作家、クリエイティブ・ディレクターなど、各界で話題を集める人物たちが「六本木アートナイト 2015」に集結し、各所で熱いクロストークを繰り広げていきます。六本木周辺の飲食店でアーティストたちが少人数の参加者とともに同じテーブルを囲むと、トークイベントはスタート。トーク内容はテーマなし、台本なしで、予測不可能な展開へと発展していきます。その場で即興的な化学反応の数々が起こる奇跡の一夜をお楽しみください。

- ・日時: 4月25日(土)18:00~4月26日(日)3:00頃
- ・場所: 六本木周辺の飲食店
- ・参加アーティスト: 会田誠、安齋肇、伊藤ガビン、内沼晋太郎、遠藤一郎、大巻伸嗣、大八木翼、小沢剛、金氏徹平、坂部三樹郎、篠田太郎、しりあがり寿、住吉智恵、椿昇、遠山正道、南條史生、西尾美也、もふくちゃん(福嶋麻衣子)、八谷和彦、林千晶
- ・参加料: 有料(会場によって異なります)

※要事前申し込み

※詳細は決定次第、随時「六本木アートナイト 2015」公式ウェブサイトにてお知らせいたします。

《ストローでつくろう！コテトラ(Cotetra)ワークショップ》

みんなの心にあかりを灯す配送集団「ひかりうんそう」によるコテトラ(Cotetra)ワークショップ。見慣れたストローとゼムクリップを使って、いろんなかたちをつくって遊ぼう！日曜の昼間、だれでも参加いただけます。

- ・日時: 4月26日(日)12:30~17:30
- ・場所: 六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料: 無料 ※先着順・事前申し込み不要



©hikariunsou ひかりうんそう/
オオカゴコテトラ/2014

《夢を撮る、踊る、「夢と踊りと音」》

自分の夢をカメラに収めたことはありますか？ 事前に集められた夢の写真、アートナイトの一夜の夢の写真、みんなの写真を集めてひとつの映像に仕上げ、その夢の集合体の中に踊りと音がシンクロする、アートナイトの最後を飾る驚きのパフォーマンス&ワークショップです。

- ・日時: 4月26日(日)15:30~17:30
- ・場所: 六本木ヒルズアリーナ
- ・参加アーティスト: 平間至、ATSUSHI、KenKen 他
- ・参加料: 無料 ※事前申し込み不要



ITARU HIRAMA



J-WAVE ROPPONGI ART NIGHT SPECIAL

「六本木アートナイト 2015」と完全連動したスペシャルプログラムを J-WAVE 81.3FM でライブでオンエア。参加アーティストのインタビューや、「ハルはアケボノカフェ」で行われるイベントの中継など盛りだくさんの内容でお送りします！

アートナイト開催中の六本木各所からのレポートも随時お届け。番組をチェックして、六本木アートナイトを 120%楽しむことができます。

・日時:4月26日(日)1:00~5:00

【同時開催プログラム】 NEW

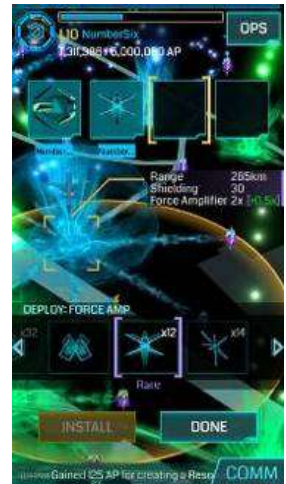
デジタルコンテンツや国際交流企画など、外部企業や施設が「六本木アートナイト 2015」に併せて開催する企画。

<主な作品>

インGRESS 六本木アートナイト・スペシャル NEW

世界 200 以上の国・地域でプレイされている Google が提供する AR 陣取りゲーム「Ingress」。六本木アートナイトでは一夜限りの特別な Ingress の体験ができます。さあ、スマートフォンを片手に作品を巡り、Ingress の世界を楽しみましょう。

- ・日時:4月25日(土)10:00~4月26日(日)18:00
- ・参加料:無料
- ・主催:Google
- ・問い合わせ:<https://support.google.com/ingress> (Ingress ヘルプセンター)



高音質爆音ライブイベント「Maximum Music Values (マキシマム・ミュージック・バリュー) Vol.1」 NEW

会場にすべての音響設備を入れ込み高音質ハイレゾ以上の音質でライブを行い、音楽の持つパワーを改めて再認識させるイベント。ケーブル、音源、アンプ、スピーカーの細部に至るまでにこだわり抜いた環境でのライブ演奏は他に類を見ない驚きと感動を与えることは間違いありません。

- ・日時:4月25日(土)第1部 START 15:45/第2部 START 20:15
- ・場所:スーパーデラックス
- ・参加料:1部、2部ともに当日:3,500円(1ドリンク別)
通し券:4,900円(1ドリンク別)
- ・主催:KOTOBUKISUN
- ・問い合わせ:03-6303-0254[平日 12:00~18:00] (KOTOBUKISUN inc)



KOTOBUKISUN

高音質爆音ライブイベント
「Maximum Music Values
(マキシマム・ミュージック・バリュー)」

NIKKEI アートプロジェクト「アートは都市をまわる」 NEW

NIKKEI アートプロジェクトは、日本経済新聞電子版が現代アートの魅力を広く発信する取り組みです。今回は都市で行われるアートイベントやアートプロジェクトを題材に、アートと都市の関係を掘り下げるトークイベントを行います。

NIKKEI アート・プロジェクト

語り手は「六本木アートナイト 2015」アーティストディレクターの日比野克彦氏と 3331 Arts Chiyoda 統括ディレクターの中村政人氏という、数々のアートイベントを成功に導いた二人。アートスペース TRAUMARIS を主宰する住吉智恵氏がモデレーターとなり、東京のど真ん中で突っ込んだトークを展開します。都市がアートを育み、アートが都市を変貌させる…。都市とアートの相互作用について考えを深めたら、今度は体験する番。トークを聞いて六本木の街に飛び出しましょう。

- ・日時:4月25日(土)15:00~16:30
- ・場所:テレビ朝日 umu
- ・参加料:無料 ※日経電子版会員登録が必要
- ・主催:日本経済新聞社 デジタルビジネス局
- ・問い合わせ:<http://support.nikkei.com> (日本経済新聞電子版)



イメージソース《Photo Circuit》 **NEW**

デザインとテクノロジーの可能性を探求し、新たなビジョンを描き出すイメージソース(IMG SRC)が今回展示するのは、24 台の iPodTouch で 360 度を囲ったスペースで周回する連写やバレットタイムによる撮影を行い、その場で動画に編集する「Photo Circuit」。生成された動画は自動的に YouTube に限定公開でアップロードされ、参加者は SNS やブログを通じて共有することができます。周りの人々と繋がりがながら、デジタルテクノロジーで最高の自撮りをぜひご体験ください！

- ・日時: 4月25日(土)17:00~4月26日(日)5:00
- ・場所: 東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・参加料: 無料
- ・MicroTiles ディスプレイの協賛: 株式会社シーマ、クリスティ・デジタル・システムズ USA
- ・主催: 株式会社イメージソース(IMG SRC)
- ・問い合わせ: <http://www.ingsrc.co.jp/> (株式会社イメージソース)



Photo Circuit 本体イメージ

IHJ アーティスト・フォーラム(日米友好基金 40 周年記念)

ケイティ・サコーンと Go! Push Pops《野性を祈れ》 **NEW**

多国籍フェミニスト集団 Go! Push Pops による老若男女のためのワークショップ。ネオ・シャーマニズムや自然信仰をヒントに、スピリットアニマル(古代哲学にある守護動物)という考え方や、やさしいヨガ・瞑想などを通して、地球とのつながりを強め、仲間とともに自由な表現の可能性を探ります。自分のスピリットアニマルを見つけたら、そのコスチュームを作製し、最後は皆でミニパレードに繰り出しましょう。

- ・日時: 4月25日(土)13:00~16:30
- ・場所: 国際文化会館 講堂
- ・参加料: 無料 ※事前申し込み必要
- ・主催: 公益財団法人 国際文化会館
- ・問い合わせ: www.i-house.or.jp (国際文化会館)



「Go! Push Pops」
撮影: Ishmail Thoth Ra

IHJ アーティスト・フォーラム(日米友好基金 40 周年記念)

ジョージ・フェランディ《Star! Star! Star! Circle!》 **NEW**

星空のおとぎ話、それとも怪しい降霊会。普段は開放されていない国際文化会館の屋上で、ドラマティックな夜空の変化を体験する、音声劇に参加してみませんか。ヘッドホンから流れる天体の物語が、9名の参加者とシンクロしながら進行します。

- ・日時: 4月25日(土)18:00、18:20、18:40、19:00、19:20、19:50、20:10、20:30、20:50、21:10、21:30(全11回) ※雨天決行(屋内開催)
- ・場所: 国際文化会館 屋上
- ・参加料: 無料
- ・定員: 各回9名 ※年齢制限あり
- ・主催: 公益財団法人 国際文化会館
- ・問い合わせ: www.i-house.or.jp (国際文化会館)



ok don't look at the stranger

ピピロッチェ・リスト《進化的トレーニング(堀川一不安は消滅する)》 **NEW**

スイス出身のピピロッチェ・リストによる、京都で初めて開催されている現代美術の国際展「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015」のための新作。1953年に建てられた堀川団地というユニークな立地で、住居の一室にて布団と天井に映像を投影するインスタレーションを展示。宇宙を泳ぎ無意識下へトリップするような空間をつくりだしています。

- ・日時: 4月25日(土)24:00~4月26日(日)4:56
- ・場所: 六本木ヒルズ メトロハット大型ビジョン
- ・参加料: 無料
- ・主催: 京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
- ・問い合わせ: www.parasophia.jp (PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015)

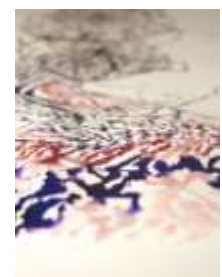


Gigantic Pear Log, 2014.
Courtesy the artist, Luhring
Augustine, New York, and
Hauser & Wirth

石田尚志《色の波の絵巻》 **NEW**

横浜美術館で個展「石田尚志 渦まく光」が開催中の石田尚志の代表作、《絵巻》シリーズの一作。線描とコマ撮りの反復作業によって、色の波が斜面を滑り落ちながら見るものに迫ってくるダイナミックなビジョンを創出している。

- ・日時: 4月25日(土)18:22~4月26日(日)4:56
- ・場所: あじさいパーキング
- ・参加料: 無料
- ・主催: 横浜美術館(財団法人横浜市美術振興財団)
- ・問い合わせ: <http://yokohama.art.museum/>



《色の波の絵巻》2010年、
ビデオ©Takashi Ishida

六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21DESIGN SIGHT、国立新美術館の各施設でも期間中様々な特別プログラムを用意しています。「各館プログラム」の詳細は「六本木アートナイト 2015」公式ウェブサイトをご覧ください。



【アーティストディレクター 日比野克彦 プロフィール】



1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレに出品。領域横断的、時代を映す作風で注目される。2003年、越後妻有アートトリエンナーレで「明後日新聞社文化事業部」を設立、明後日朝顔プロジェクトの活動を開始。2005年水戸芸術館[HIBINO EXPO]、2007年金沢 21世紀美術館[「ホーム→アンド←アウェー」方式]、熊本市現代美術館[HIGO BY HIBINO]など個展を開催。2007年より「種は船」を金沢・横浜・鹿児島・種子島などで造船。2010年より3ヶ月かけて制作した自走式の船で2012年「種は船航海プロジェクト～階 rom 舞鶴」で3ヶ月間航海を実施。国内各地で地域の人々と共同制作を行いながら、受取り手の感受する力に焦点を当てたアートプロジェクトを展開し、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。また、2010年よりサッカーW杯にむけ、スタジアムでスポーツとアートの交流をはかる「MATCH FLAG PROJECT」

を開始。瀬戸内国際芸術祭2013において、海の底の時間に焦点をあてた「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト『一昨日丸』」を実施。現在、東京藝術大学教授、日本サッカー協会理事を務める。

【メディアアートディレクター 齋藤精一 プロフィール】



1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000年からNYで活動を開始。その後、ArnellGroupにてクリエイティブとして活動し、2003年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのをきっかけに帰国。その後、フリーランスのクリエイティブとして活躍後、2006年にライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。2009年～2014年国内外の広告賞にて多数受賞。現在、株式会社ライゾマティクス代表取締役、東京理科大学理工学部建築学科非常勤講師。2013年D&AD Digital Design 部門審査員、2014年カンヌ国際広告賞 Branded Content and Entertainment 部門審査員。

【六本木アートナイト2015 開催概要】

■正式名称：六本木アートナイト2015

■基本理念：「六本木アートナイト」は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験をつくり出すとともに、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街づくりの先駆的なモデルを創出します。東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。

■日時：2015(平成27)年4月25日(土)10:00～4月26日(日)18:00
 <コアタイム> 4月25日(土)18:22【日没】～4月26日(日)4:56【日の出】
 ※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

■入場料：無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）

■主催：東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】

■公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com>

■一般問い合わせ先：03-5777-8600（ハローダイヤル） 営業時間：年中無休 8:00～22:00

※平成27年3月10日発表のプレスリリースから、一部プログラム名、アーティスト名が変更になっております。

P.3 スイッチ総研《六本木アートスイッチ》 → スイッチ総研《六本木アートナイトスイッチ》

P.5 震嘔《虹の滝(TBC)》 → 震嘔《300mのレインボー》

P.5 日比野克彦《昨日みた夢は何ですか?》 → 日比野克彦《昨日と今日の間にみる夢》

P.6 アローラ&カルサディーヤ《気性とオオカミ》 → アローラ+カルサディーナ《気性とオオカミ》

P.6 チームラボ《クリスタル花火》 → チームラボ《願いのクリスタル花火》

